



三次中央会報

ロータリークラブ

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/ 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrs.server-shared.com

例会場/ 広島県三次市十日市南1-10-1
三次グランドホテル

例会日/ 月曜日 12:30~13:30

会長 / 栗本清秀
幹事 / 杉谷優次

●2021~22年度 国際ロータリーのゲーム

- 本日のプログラム 年次総会/次年度理事役員選出、上半期報告
- 次回例会日時 2021年12月13日(月)12:30~
- 次回プログラム 青少年奉仕勉強会

■第1337回例会記録

- 日時.....2021年11月29日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「我らの生業」.....全員



■開会挨拶.....栗本会長

前人樹を植えて、後人涼むを得

皆さん、こんにちは。本日はロータリー情報委員会担当です。沖委員長よろしくお願いします。チャーターメンバーを含む御三方の卓話です。井上幸三会員、酒井会員、佐々木会員お願いします。

チャーターメンバーの皆様は、今年で32年目のロータリーライフを迎えられたことに敬意を表します。

“前人樹を植えて、後人涼むを得”ということわざがありますが、チャーターメンバーの皆様のご創世記のご労苦のお陰で、今我々はこの三次中央ロータリークラブという大樹のもとに集い、親睦そして奉仕を行うことが出来ることに改めて感謝いたします。

私が当クラブに入会したのが2002年7月で、来年には20年目となります。この20年というスパンを考えてみますと、昭和36年生まれで西暦では1961年生まれですが、20年さかのぼりますと1941年です。この年の12月8日未明にハワイ真珠湾攻撃により太平洋戦争突入となるわけですが、私自身はこの日本の悲劇を歴史として、または両親、祖父母からの話としてしかわかりませんが、両親、祖父母にとっては現実の生きてきた

経緯です。

二十歳を迎える1981年は1979年・1980年と日本一連覇の古葉Carpが巨人のV9以来となる日本一に覇権を奪われた年で、角界では千代の富士がウルフフィーバーに沸くなか横綱に昇進し、お茶の間では“俺たちひょうきん族”に代表されるようなお笑い番組全盛だったようです。

日本国内は40年前の戦時下を忘却したかのようになり、平和を謳歌していたように思われます。

そして新世紀元年と謳われた2001年は、この年の漢字に選ばれた“戦”に表されるように米国の同時多発テロや、アフガニスタン侵攻、国内においては小泉内閣の構造改革に対しせめぎあいが行われました。

コロナ禍の2021年も来週から師走を迎えます。来るべき2022年にはマスクを外せる日がくるのでしょうか。一日も早い平常な毎日に戻れるよう願います。以上で会長挨拶を終わります。



■ベネファクター表彰
 栗本会長
 ベネファクターとして
 認証状が授与されました



■幹事報告.....杉谷幹事

- 芸備線存続活動の「芸備線にカープ号を走らす会」に支援金を贈らせていただきましたカープ号が昨日、11月28日運用開始となりました。その中国新聞のチラシを回覧しております。
- 次週12月6日(月)は総会です。指名委員長は小根森会員、委員が竹野会員、村竹会員、酒井会員、水野会員となっております。
- 12月6日(月)理事役員会を19時より三次ワイナリーにて開催します。

■出席報告.....中西委員長

●第1335回 11月15日

会員数	36名	Make-up	1名
欠席	6名	出席合計	31名
欠席者の出席希望	1名	出席率	88.57%

- 第1337回 本日の出席は36名中26名です

■SAA.....小根森 SAA

●会員ニコニコBOXご出宝

- 杉谷君 妻の誕生日お花ありがとうございました。また忘年杯楽しかったです。(伏)
- 村竹君 誕生日、ワインありがとうございました。(伏)
- 沖君 情報委員会、卓話ヨロシク。忘年杯、優勝しました。ありがとうございます。(伏)
- 上田君 忘年杯参加ありがとうございました。準優勝しました。そして初めてのベスグロをとらせていただきました。(伏)
- 栗本君 ロータリー情報委員会、沖委員長、よろしくお願ひします。佐々木会員、井上幸三会員、酒井会員、卓話よろしくです。
- 竹野君 会員卓話、佐々木様、酒井様、井上様よろしくお願ひいたします。
- 佐々木君 本日卓話です。昔の話をさせていただきます。
- 井上幸三君 良い事がありました。卓話よろしく。
- 酒井君 今日、卓話です。よろしくお願ひします。
- 平田君 会員卓話、拝聴します。
- 沈君 会員卓話、皆さん頑張って!
- 小根森君 会員卓話、楽しみにしています。

ニコニコBOX本日出宝額 22,000円



私の事務所のSDGs

圓道健二会員

SDGsの8番目に「働きがいも経済成長も」というのがあります。この中で8-3「働きがいのある人間らしい仕事を増やしたり、会社を始めたり、新しいことを始めたりすることを助ける政策をすすめる。特に、中小規模の会社の設立や成長を応援する。」とあります。これは私の仕事で特に重要視している項目です。新規開業や法人成りのサポートを積極的に行うことや昨今の大規模な自然災害や新型コロナウイルスの発生にも対応できる継続可能な事業の構築をアシストすることで、三次の街の活性化の一翼を担っていきたいと考えております。

■プログラム《会員卓話》.....ロータリー情報委員会

本日は、チャーターメンバーの方等に色々とお話ししていただくようお願いしております。

32年前に三次中央ロータリークラブが誕生したのですが、ロータリーについて親クラブの水本さんからお話しいただいた時に印象に残っていることは、とにかく出席することが一番だ、とおっしゃったことです。遅れて来たり、用事で途中退席することも責めるな。一番悪いのは欠席することだ。だから皆さん、遅れてきてもいいし、食事をしに来るだけでもよいので、欠席しないよう心がけていただけたらと思います。

もう一つ、毎週会報が出ております。当クラブの伝統ですが、2710地区でも自慢できる会報です。またその表題には、「三次中央ロータリークラブ会報」と筆文字で記してあります。これは、今は亡き木下朴雨さんという元三次中央ロータリークラブ会員で書道の大家に記していただいたものとなっております。それでは、卓話される皆様には時間厳守をお願いいたします。

沖 東洋治ロータリー情報委員長

例会を大切に

井上 幸三



久しぶりの登壇です。よろしくお願いします。

先週の例会時に卓話を突然依頼されてしまったのですが、ロータリアンは頼まれるといやとは言えないというものだと以前から聞いておりましたので、お引き受けいたしました。一つ気になることがありましたので、そちらをお話したいと思います。

三次中央ロータリークラブは1990年6月に25名の会員で創立しました。その時の会員がいわゆるチャーターメンバーで創立会員と呼ばれています。後々までそう呼ばれ、私も大変名誉なことだと感じています。現在は7名の在籍で寂しくなってきましたが、これも永く続いてきたからだと思えます。中でも沖会員と松本会員は32年目でしょうか連続出席を続けられています。これは並大抵のことではありません。

近頃感じることがあります。それは例会への欠席が少し目立つようになったことです。数年前、私が出席委員長だった時、例会場にある出席表の名札の赤が気になっていました。今はコロナ禍の中、事情は違うと思いますが出席者が少ないと例会の運営機能が働かなくなります。例会出席はロータリアンの一つの義務であります。創立当時は例会出席が厳しく言われていました。平均出席率も97~98%を保つほどでした。

竹野会員が出席委員長の時には会員出席率100%以上を目指そうと言われたことを思い出しました。これは、例会以外に地区大会やIMへ参加することにより可能となります。

例会は、会員同士理解と親睦が深まる場でもあり、人生の勉強にもなります。また他クラブのロータリアンやゲストなど多くの人と知り合えることができる場でもあります。入会していなければ知り合えなかった方は、たぶん32年間で200名以上の方だと思います。退会された会員だけでも70名以上になります。自分にとって大きな財産となっています。

要は皆さん、例会を大事にしましょう。この2年、コロナ禍、例会の休会が増え、会員同士の交流も減り、休むことに慣れてきたような気がしています。20年30年続けていけるよう、元に戻るよう頑張りたいと思います。ありがとうございました。

古民家 法木寺庵

酒井 正治



平成8年、52才の時、中途退社し、三次へ帰ってきました。その時、吉舎町安田上谷にあった妻の実家が空き家になっていました。もう廃屋にするつもりでしたが、妻から「元は寺で歴史があり、高校まで住んで育てられた家なので捨てがたい」と言われ、手を加えて維持管理して利用しようということになりました。

100年以上も経った古い家で、地元の大工さんに頼んで傾きを直したり、水回り屋根など改装しました。五右衛門風呂は残し雨戸もそのまま、できるだけ古い感じに仕上げ、「法木寺庵」としました。妻の旧姓が法木で、明治以前は法木寺という寺でした。

平成12年度、松本会長の時、GSE(研究グループ交換)で、スウェーデンから5人のメンバーを1泊2日で受け入れてほしいとの要請が地区からありました。

GSEのメンバーは、広島、山口の都市部の大手会社、大工場、病院などを見学、大手ホテルでの歓迎会や食事を約1ヶ月続けて、最後に三次へとやって来られました。鳳源寺での座禅例会、風土紀の丘、歓迎会と宿泊は、今までとは真逆の田舎の古い農家と、吉舎の法木寺庵に決まりました。前日からスウェーデンと日本、ロータリーのフラッグで会場の準備をし、当日はパーベキューと元会員の平田さんに寿司の模擬店を出してもらい、寿司を握る体験までしてもらいました。当然、五右衛門風呂にも入ってもらい、大変喜んでもらいました。その後のスウェーデンからの礼状にも三次での古い良き時代の体験と手作りの歓迎会とホームステイが一番印象に残っている、とありました。

また、その年の佐々木ガバナー補佐の発案で、G12の5クラブの歴代ガバナー補佐に声をかけ、20名くらいの参加で法木寺庵で懇親会を開催しました。皆さん役目が終わった後、寂しい思いをしていたとのこと、大変喜んでいただきました。

その後の法木寺庵ですが、お隣の空き家古民家に家内の仲介でIターンの移住者が来てくれて、現在移住者が7件に増えました。知らない田舎で、寂しい思いをされているのではと声をかけて、春は花見や山野草を食べる会、夏は虫と音楽の夕べ、秋は紅葉の中、大鍋を囲んでの芋煮会、年末には餅つきなど、色々懇親会を開いて喜んでもらっています。また、その時は地元の方たちにも参加してもらっています。

古民家法木寺庵もまた、元気に戻りつつあります。

三次中央RC誕生秘話

佐々木 二千六



皆さんこんにちは。何を話そうかといろいろ考えましたが、32年前の昔話をさせていただこうと思い記憶をたどり、苦勞して原稿を書きました。今からお話することはチャーターメンバーしか知らないことです。

我がクラブは、1990年に25名のチャーターメンバーで誕生しました。あれから32年です。ちょうど私は50歳でした。バブル全盛期の頃です。この年には平成天皇の即位があり、大阪花万博開催そして三次RCさんが創立30周年を迎えられた年です。

1989年の11月末頃、三次RCの水本義則さんが三次RCでは、三次にもう一つのロータリークラブを作りたいとの意向があるのだが何とか新クラブの会員を集めることができないものかと何人かに声をかけられたのが始まりでした。

その頃、当時の弘田達朗ガバナーが三次RCに来られ、新クラブの設立について強く要望されたそうです。それで4月中旬、三次RCの創立30周年を記念して新クラブ設立の組織を正式に立ち上げられました。

そして三次RCの水本義則さんが、実は6月7日に平安閣で新クラブ設立について会議をしたので、村竹、沖、河野、町里、佐々木の5名に気軽な気持ちで出席してくださいとの案内があり、5名で出席しました。しかしとんでもない会場で私は驚きました。そこでは三次RCの会員が出迎えてくださり、席まで案内され、国旗、ロータリー旗、テーマが掲げられていました。また弘田達朗ガバナー、下山庄兵衛特別代表、谷岡拡大委員、水本拡大委員を始め三次RCの方々もズラリと列席されておりました。更に、本日の例会場と同じように点鐘、国歌斉唱そして下山特別代表、弘田ガバナーの挨拶に始まり新クラブ設立についての説明が詳しくありました。新クラブ設立には一業種一人の会員25名が必要であるとのことでした。

実はその頃には、水本義則さんのご指導で既に13名の会員の入会は取り付けていましたので、何としてもあと12名の会員を集めようと会員予定者13名が懸命の努力をし、やっと6月16日に25名の会員予定者が揃ったと思っていたところ、1名の辞退者が出たということで、さあ大変と皆が慌てましたが、沖さんの例の押しの長所が生かされまして最後の一人信国秀昭さんをゲットされました。そして東京のホテルで待機いただいている弘田ガバナーに25名のチャーターメンバーの名簿を

FAXし、何とかRI加盟の承認期限ギリギリに受理していただくことができました。

説明会からわずか12日後の6月18日にスポンサークラブのご指導でチャーターメンバー25名で創立総会を開催し、誕生したのが三次中央ロータリークラブです。

初例会は6月21日(月)12:30から三次商工会議所2階で初代会長中岡忠允さん幹事は町里文孝さんの元で行いました(三次商工会議所での例会は11回)。三次商工会議所が建て替えということになり、12回目の例会からは平安閣で行うことになりました。

会員同士お互いの気心が解ってきた頃に、裸のつきあいをやろうということで7月23、24日に一泊二日で大朝町の鳴滝温泉で岩風呂に入り、酒を酌み交わし、楽しく有意義な一夜を過ごし、これで親睦の輪が一気に深まりました。

そして11月12日の認証状伝達式に向かっの準備も一致団結して進めることができました。開催案内も全国に驚きの1,900クラブに案内状を郵送し、特別来賓も含め342名(夫人も含む)もの多くのご登録をいただきました。登録料は一般登録(夫人含む)25,000円、当クラブ会員(夫人含む)50,000円をお願いをしました。当日までに三次中央RCの会員は30名となり、夫人も加えて総勢約400名で盛大に認証状伝達式を開催させていただくことができました。ロータリーの偉大なつながりと友情には会員一同大感謝でした。ここまでの昔話です。

現在、我がクラブは36名の会員です。チャーターメンバーも25名から7名となりました。今期私は、会員増強委員会に所属しています。会員増強は永遠のテーマで、ロータリアンは必ず一人の会員の推薦を挙げるのが責務となっております。この責任をお互い果たしましょう。これがクラブの発展であり、奉仕の基本です。金看板の「四つのテスト」を自己の言動指針として、会員推薦を是非とも挙げていこうではありませんか。必ずあなたの近くに素晴らしい方が居られるはずですよ。このことを強くお願いして終わります。ありがとうございました。

三次中央RC誕生に導いていただいた水本義則名誉会員(ロータリー歴34年の内中央クラブで11年)の紹介をいたします。水本義則さんは三次RCの第29代の会長で、1991年に三次中央RCに移籍していただき、我がクラブの基礎作りに多大なる貢献をしていただいた方です。

2001年6月に退会され、以後名誉会員として我がクラブを見守り続けていただいております。しかし残念ながら、2012年12月10日に84歳でご逝去されました。水本義則さんは実質的な三次中央ロータリークラブの生みの親であり、育ての親であります。心から感謝しております。

■点鐘……………栗本会長